



「環境にやさしい取組みをしている運輸事業者」を
認証する制度が、グリーン経営認証です。
国土交通省及び各事業団体の協力を得て、エコモ
財団が推進しています。

 公益財団法人
交通エコロジー・モビリティ財団

〒102-0076 東京都千代田区五番町10番地 五番町KUビル3階
交通環境対策部 TEL:03-3221-7636 FAX:03-3221-6674

平成30年度

エコドライブ活動コンクール
優秀取組事例集



 公益財団法人
交通エコロジー・モビリティ財団

目次

- エコドライブ活動コンクールとは 1
- コンクール概要 2
- 募集結果 3
- 表彰式 4
- 受賞者一覧(大臣賞～審査委員長特別賞) 5
- エコドライブ優良活動認定事業者一覧 6
- 二次審査応募事業者一覧 7
- 上位受賞事業者の取組事例紹介
 - 国土交通大臣賞(事業部門)
 - 株式会社ロジバルエクスプレス 8
 - 環境大臣賞(一般部門)
 - 株式会社サンゲツ 10
 - 優秀賞(事業部門)
 - SBS三愛ロジ東日本株式会社 東北物流課 12
 - 日本トラック株式会社 栃木営業所 14
 - 有限会社古川商事運輸 本社営業所 16
 - 日本トラック株式会社 藤沢営業所 18
 - 優秀賞(一般部門)
 - 若松ガス株式会社 20
 - 株式会社日立産機ドライブソリューションズ 22
 - 株式会社エスアールエル 24
 - 審査委員長特別賞(ユニーク部門)
 - かわさき自動車環境対策推進協議会 26
 - 熊本県ストップ温暖化県民総ぐるみ運動推進会議 27
- エコドライブ活動の基本的な取組事例 28
- 上位受賞事業者以外の特徴的な取組事例紹介

エコドライブ活動コンクールとは

◎全国的なエコドライブ活動のコンクールを開催！

公益財団法人 交通エコロジー・モビリティ財団は、平成9年に設立された「エコドライブ普及推進協議会」(運輸関係等16団体で構成)の事務局を務めるとともに、独自に様々なエコドライブを普及推進するための活動をしています。

この活動の一環として、平成23年度から「エコドライブ活動コンクール」を開催して優れた取組みを行っている事業者を表彰し、その取組み内容を紹介することで更なる普及を図っています。



◎エコドライブ活動コンクールは燃費を競い合うもの？

違います!!

本コンクールは、燃費の改善状況だけを審査するものではなく、事業者のエコドライブ活動取組み内容を幅広い観点から審査するコンクールです。

優れたエコドライブ活動の事例を集めて紹介していますので、更なるエコドライブ活動の推進に役立ててください。

参加のメリットは？

● 社内のモチベーションアップ・活性化につながります

コンクールへの参加という具体的な共通目標を設定し、組織で取組むことが社員の意識向上につながります。

● エコドライブ推進の支援ツールが手に入ります

コンクールに参加することでエコドライブポスターやチラシ、参加登録証明書や優秀取組事例集など、活動を盛り上げるための様々なツールが手に入ります。

● 自社の活動レベルを客観的に評価できます

多くの事業者の中でどのレベルに位置しているのか客観的な評価を受けることができ、活動の更なるレベルアップにつながります。



審査項目	審査結果		
	優 等	優 秀	本 土 分
(1) 取組体制の整備	★		
(2) 取組の実施	★		
(3) 取組管理		★	
(4) 活動成果と評価		★	
(5) 継続実施と方策			★
総合	★		

コンクール概要

- 主催：公益財団法人 交通エコロジー・モビリティ財団
- 後援：「エコドライブ普及連絡会」(警察庁、経済産業省、国土交通省、環境省)

「エコドライブ普及推進協議会」

(公社)日本バス協会、(公社)全日本トラック協会、(一社)日本自動車工業会、(一社)日本自動車連盟、(一社)日本自動車販売協会連合会、(一社)日本自動車整備振興会連合会、(一社)全国ハイヤー・タクシー連合会、(一社)全国個人タクシー協会、(一社)全国自家用自動車協会、(一社)日本自動車運行管理協会、(一社)全国レンタカー協会、(一社)日本中古自動車販売協会連合会、(一社)日本損害保険協会、(一社)日本自動車リース協会連合会、(一財)環境優良車普及機構、(公財)交通エコロジー・モビリティ財団

● 募集対象

事業部門(緑ナンバー)	自社の車両を保有(リースを含む)するトラック、バス、タクシーなどの運輸事業者。
一般部門(白ナンバー)	移動などの業務上で車両を使用している事業者。自社の製品等を運搬している場合を含む。
ユニーク部門	エコドライブに関する独自の取組を実施しているさまざまな主体。

- スケジュール：応募期間 平成30年5月1日(火)～7月2日(月)
表彰式 平成30年11月28日(水)開催の「平成30年度エコドライブシンポジウム」の中で表彰。

- 審査：審査は審査委員会(審査委員長：大聖 泰弘 早稲田大学大学院次世代自動車研究機構特任研究教授)にて実施

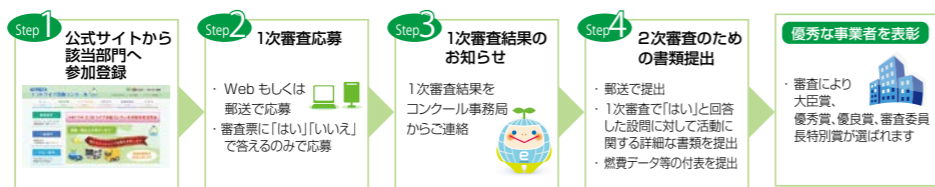
1. 取組体制の整備	どのような社内体制(方針、目標、管理体制など)で活動を行っているか。
2. 教育の実施	従業員にどのようなエコドライブの教育・指導を行っているか。
3. 燃費管理	どのような仕組みで燃費データを収集・管理しているか。
4. 活動成果と評価	どの程度の燃費向上を達成しているか。 燃費以外の副次的効果とエコドライブ活動に対する評価をどのように行っているか。
5. 継続実績と方策	エコドライブ活動を継続するため、どのような取組を実践しているか。

※ただし、ユニーク部門は上記審査基準によらず、エコドライブに関する特徴的な取組を評価します。

- 表彰：国土交通大臣賞(事業部門) 1件
環境大臣賞(一般部門) 1件
優秀賞 7件
優良賞 40件
審査委員長特別賞(ユニーク部門) 2件

- 応募費用：無料

- コンクールの流れ



募集結果

● 参加数

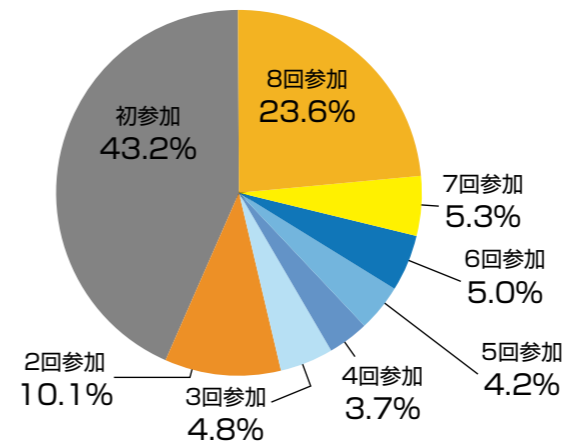
全部門

	応募件数	事業所数	従業員数	車両台数
一次審査	383	1,693	150,989	42,792
二次審査	200	806	49,483	26,174

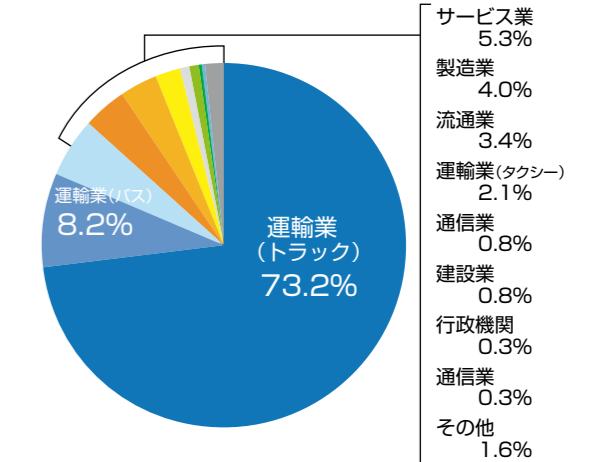
部門別

	応募件数	事業所数	従業員数	車両台数
事業部門	334	665	40,217	27,760
一般部門	43	445	23,197	10,631
ユニーク部門	6	583	87,575	4,401

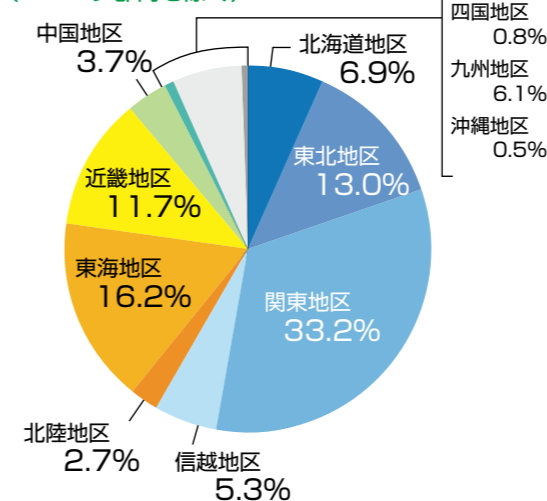
● 新規・継続応募件数割合 (ユニーク部門を除く)



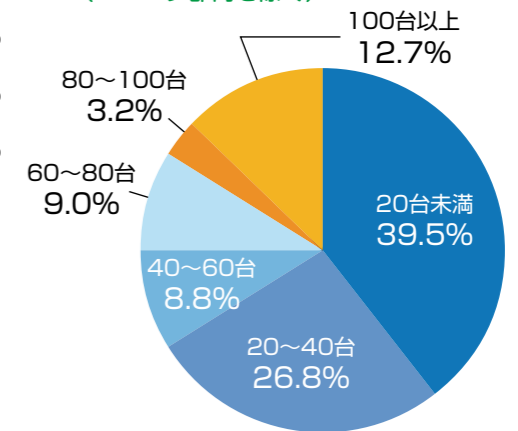
● 業種別応募件数割合 (ユニーク部門を除く)



● 地域別応募件数割合 (ユニーク部門を除く)



● 車両台数別応募件数割合 (ユニーク部門を除く)



表彰式

受賞者一覧

グリーン経営認証取得事業所

「平成30年度エコドライブシンポジウム」にて、表彰式を行いました。

日時：平成30年11月28日(水)13:30～16:20
 場所：千代田区立内幸町ホール(東京都千代田区)



前列左より (敬称略)
 環境省 水・大気環境局 自動車環境対策課 庄子課長、(株)サンゲツ 長谷川課長、(株)ロジパルエクスプレス 馬場代表取締役社長、国土交通省 総合政策局 山上次長、(公財)交通エコロジー・モビリティ財団 岩村会長

後列左より
 熊本県ストップ温暖化県民総ぐるみ運動推進会議 田邊理事長、かわさき自動車環境対策推進協議会 高橋会長、(株)エスアールエル 横野部長、(株)日立産機ドライブ・ソリューションズ 津上主幹技師、若松ガス(株) 亀岡執行役員、日本トラック(株) 藤沢営業所 菊地所長、(有)古川商事運輸 本社営業所 古川代表取締役、日本トラック(株) 栃木営業所 小堀所長、SBS三愛ロジ東日本(株) 東北物流課 千葉課長



表彰式(国土交通大臣賞)



表彰式(環境大臣賞)



審査講評



(株)ロジパルエクスプレス 取組紹介



(株)サンゲツ 取組紹介



記念トロフィー

国土交通大臣賞

株式会社ロジパルエクスプレス (東京都)

環境大臣賞

株式会社サンゲツ (愛知県)

優秀賞

事業部門

- SBS三愛ロジ東日本株式会社 東北物流課 (宮城県)
- 日本トラック株式会社 栃木営業所 (栃木県)
- 有限会社古川商事運輸 本社営業所 (東京都)
- 日本トラック株式会社 藤沢営業所 (神奈川県)

一般部門

- 若松ガス株式会社 (福島県)
- 株式会社日立産機ドライブ・ソリューションズ (千葉県)
- 株式会社エスアールエル (東京都)

優良賞

事業部門

- SBS三愛ロジ東日本株式会社 札幌営業所輸配送課 (北海道)
- 株式会社エネックス 東北支店 八戸営業所 (青森県)
- SBS三愛ロジ東日本株式会社 東北販売物流部 宮城輸配送課 (宮城県)
- 伊運貨物運送株式会社 仙台支店 (宮城県)
- 磐城通運株式会社 植田支店 (福島県)
- 株式会社高田運送 (栃木県)
- 株式会社東配 (埼玉県)
- 株式会社ヤマガタ 東京営業所 (埼玉県)
- 光和輸送株式会社 本社営業所 (埼玉県)
- 佐川急便株式会社 成田営業所 (千葉県)
- 平沢運輸株式会社 千葉営業所 (千葉県)
- 株式会社丸運トランスポート東日本 千葉支店 市原営業所 (千葉県)
- 国際自動車株式会社城西 三鷹営業所 (東京都)
- 株式会社トーハイ (東京都)
- 国際自動車株式会社城南 羽田営業所 (東京都)
- 竹内運輸工業株式会社 (東京都)
- 日京運輸株式会社 鶴見営業所 (神奈川県)
- 小林運輸株式会社 本社営業所 (神奈川県)
- インパックスロジスティクス株式会社 (新潟県)
- 新潟陸運株式会社 (新潟県)
- 株式会社福井アクティ (福井県)
- 南信州広域タクシー有限公司 (長野県)
- 株式会社ダイコー商運 (静岡県)
- 日東運送株式会社 (愛知県)
- 稲沢運輸株式会社 名古屋営業所 (愛知県)
- 株式会社エネックス 中部支店 (愛知県)
- 株式会社第一フジタクシー 平針営業所 (愛知県)
- 花王ロジスティクス株式会社 稲沢センター (愛知県)
- 株式会社ケン・トップカーゴ (滋賀県)
- 株式会社福田物流 (大阪府)
- ニシリク株式会社 (大阪府)
- 扇町運送株式会社 本社 (大阪府)
- 株式会社エネックス 関西支店 姫路営業所 (兵庫県)
- 株式会社富士丸商運 本社営業所 (福岡県)
- 丸野興産株式会社 諫早営業所 (長崎県)
- 内外運輸株式会社 西原営業所 (沖縄県)

一般部門

- ユニリーバ・ジャパン・カスタマーマーケティング株式会社 (東京都)
- 富士レビオ株式会社 (東京都)
- 株式会社エコワスプラント (東京都)
- 株式会社トヨタレンタリース熊本 (熊本県)

審査委員長特別賞

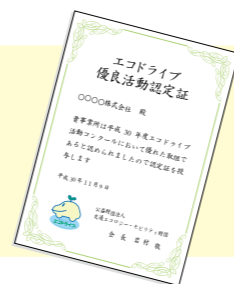
ユニーク部門

- かわさき自動車環境対策推進協議会 (神奈川県)
- 熊本県ストップ温暖化県民総ぐるみ運動推進会議 (熊本県)

エコドライブ優良活動認定事業者一覧

(都道府県順)

昨年度のエコドライブ活動コンクールにて優良賞以上を受賞し、今年度も同水準の活動を継続している事業所等を認定するものです。



事業部門

北海道中央バス株式会社 余市営業所	(北海道)	平沢運輸株式会社 磯子営業所	(神奈川県)
株式会社丸運トランスポート札幌	(北海道)	株式会社共生 本社営業所	(神奈川県)
株式会社エネックス 北海道支店	(北海道)	大光陸運株式会社 川崎営業所	(神奈川県)
カメイ物流サービス株式会社 多賀城営業所	(宮城県)	株式会社アスカ・コーポレーション 厚木支店	(神奈川県)
SBS三愛ロジ東日本株式会社 追営業所	(宮城県)	上越運送株式会社	(新潟県)
株式会社エネックス 東北支店 秋田営業所	(秋田県)	第三貨物自動車株式会社 本社営業所	(新潟県)
株式会社エネックス 新潟支店 庄内営業所	(山形県)	大和物流株式会社 金沢営業所	(石川県)
磐城通運株式会社 小名浜支店	(福島県)	西濃運輸株式会社	(岐阜県)
磐城通運株式会社 植田支店 火力営業所	(福島県)	濃飛西濃運輸株式会社	(岐阜県)
磐城通運株式会社 小名浜支店 小名浜製錬営業所	(福島県)	東和通商株式会社	(静岡県)
磐城通運株式会社 平支店	(福島県)	平野商運株式会社	(愛知県)
磐城通運株式会社 湯本支店	(福島県)	星崎運輸株式会社 本社営業所	(愛知県)
SBS三愛ロジ東日本株式会社 福島営業所	(福島県)	豊中運輸株式会社	(愛知県)
茨城流通サービス株式会社 本社営業所	(茨城県)	有限会社裕進運輸	(三重県)
株式会社エスティーシステム 水戸営業所	(茨城県)	小西運送株式会社	(三重県)
株式会社エスティーシステム 草加営業所	(埼玉県)	大阪北運輸株式会社 大阪営業所	(大阪府)
SBSリコーロジスティクス株式会社 首都圏事業本部 運送統括事業部	(東京都)	南海バス株式会社 井高野営業所	(大阪府)
相川運送有限会社 本社営業所	(東京都)	菱華運輸株式会社	(兵庫県)
国際自動車株式会社新宿 落合営業所	(東京都)	株式会社エネックス 九州事業所	(福岡県)
アルプス運送有限会社	(東京都)	株式会社サンエストラテック 福岡事業所	(福岡県)
株式会社バル横浜 横浜営業所	(神奈川県)	株式会社サンエストラテック 長崎事業所	(長崎県)

一般部門

ネットトヨタ山形株式会社	(山形県)	株式会社DINS堺	(大阪府)
さいたま市役所	(埼玉県)	久屋産業株式会社	(福岡県)
ネスレ日本株式会社 営業本部 東京支社	(東京都)	沖縄トヨタ自動車株式会社	(沖縄県)
株式会社GE	(大阪府)		

二次審査応募事業者一覧

(都道府県順)

事業部門

北海道中央バス株式会社 滝川営業所	(北海道)	株式会社ニヤクコーポレーション	(東京都)
空知中央バス株式会社 岩見沢営業所	(北海道)	国際自動車株式会社城東 台東営業所	(東京都)
北海道中央バス株式会社 真栄営業所	(北海道)	SBSリコーロジスティクス株式会社 物流センター厚木	(神奈川県)
北海道中央バス株式会社 色内営業所	(北海道)	国際自動車株式会社横浜 横浜本社営業所	(神奈川県)
北海道中央バス株式会社 札幌北営業所	(北海道)	味の素物流株式会社 厚木営業所	(神奈川県)
株式会社エネックス 石狩営業所	(北海道)	株式会社エネックス 関東支店 川崎営業所	(神奈川県)
北海道中央バス株式会社 大曲営業所	(北海道)	株式会社エネックス 根岸営業所	(神奈川県)
株式会社エネックス 苫小牧営業所	(北海道)	株式会社エネックス 新潟支店	(新潟県)
北海道中央バス株式会社 平岡営業所	(北海道)	三福運輸株式会社 新潟営業所	(新潟県)
北海道中央バス株式会社 新川営業所	(北海道)	東西運輸株式会社 東港営業所	(新潟県)
花王ロジスティクス株式会社 石狩営業所	(北海道)	三福運輸株式会社 本社営業所	(新潟県)
北海道中央バス株式会社 旭川営業所	(北海道)	山す運送株式会社 本社営業所	(新潟県)
北海道中央バス株式会社 西岡営業所	(北海道)	株式会社ヒスコム 砺波LC営業所	(富山県)
北海道中央バス株式会社 江別営業所	(北海道)	星崎運輸株式会社 富山営業所	(富山県)
道北バス株式会社 旭川営業所	(北海道)	星崎運輸株式会社 金沢支店	(石川県)
北海道中央バス株式会社 石狩営業所	(北海道)	安房運輸株式会社 金沢営業所	(石川県)
株式会社エネックス 東北支店 青森営業所	(青森県)	平沢運輸株式会社 竜王営業所	(山梨県)
有限会社光正運送 本社営業所	(岩手県)	長野石油輸送株式会社 本社営業所	(長野県)
カトーレック株式会社 仙台北営業所	(宮城県)	株式会社エネックス 大井川営業所	(静岡県)
丸祐商事株式会社 本社営業所	(宮城県)	大五運送株式会社 本社	(静岡県)
SBS三愛ロジ東日本株式会社 山形営業所	(山形県)	花王ロジスティクス株式会社 日進営業所	(愛知県)
株式会社丸運ロジスティクス東北 山形営業所	(山形県)	山三石油運輸株式会社 本社営業所	(愛知県)
株式会社北福島タクシー 本社	(福島県)	株式会社第二フジタクシー 本社営業所	(愛知県)
筑波運輸株式会社 本社	(茨城県)	株式会社丸運ロジスティクス 東海西尾営業所	(愛知県)
日本液体運輸株式会社 鹿島支店	(茨城県)	株式会社第一フジタクシー 大治営業所	(愛知県)
株式会社エネックス 茨城営業所	(茨城県)	株式会社丸運トランスポート東日本 中部支店 名古屋営業所安全課	(愛知県)
平沢運輸株式会社 石橋営業所	(栃木県)	株式会社ユーティー・サービス 本社営業所	(愛知県)
関東西濃運輸株式会社 宇都宮支店	(栃木県)	株式会社第一フジタクシー 本社営業所	(愛知県)
株式会社太陽ネットワーク物流	(埼玉県)	株式会社エネックス 四日市営業所	(三重県)
株式会社トーハイ 所沢センター	(埼玉県)	銀鈴タクシー株式会社	(京都府)
日通児越運輸株式会社 児玉営業所	(埼玉県)	大阪トヨペットロジスティック株式会社 本社	(大阪府)
平沢運輸株式会社 市原営業所	(千葉県)	株式会社エネックス 関西支店	(大阪府)
株式会社丸運トランスポート東日本 千葉支店 市川営業所	(千葉県)	千里山バス株式会社 本社	(大阪府)
SBSフレックネット株式会社 関東物流統括部 千葉営業所	(千葉県)	株式会社藤急エクスプレス 本社	(大阪府)
株式会社エネックス 関東LNG支店袖ヶ浦営業所	(千葉県)	花王ロジスティクス株式会社 堺営業所	(大阪府)
結城運輸倉庫株式会社	(東京都)	宝生運輸株式会社 神戸営業所	(兵庫県)
小田急シティバス株式会社 本社・世田谷営業所	(東京都)	神姫バス株式会社 大久保出張所	(兵庫県)
東京共同ロジテム株式会社 本社営業所	(東京都)	株式会社エネックス 関西支店 水島営業所	(岡山県)
国際自動車株式会社東雲 本社営業所	(東京都)	広島陸送株式会社 物流サービス	(広島県)
株式会社丸運 羽田京浜物流センター	(東京都)	株式会社共生 広島営業所	(広島県)
株式会社メッドトラスト東京 本社業務部	(東京都)	有限会社マルトモ運輸 本社・東広島営業所	(広島県)
国際自動車株式会社世田谷 世田谷営業所	(東京都)	株式会社サンエストラテック 北九州事業所	(福岡県)
成友興業株式会社 城南島第一事業所	(東京都)	株式会社トーカー物流	(福岡県)
成友興業株式会社 本社営業所	(東京都)	松藤商事株式会社	(福岡県)
国際自動車株式会社城西 吉祥寺営業所	(東京都)	株式会社サンエストラテック 八代事業所	(熊本県)
株式会社エネックス 関東支店 八王子営業所	(東京都)	株式会社サンエストラテック 大分事業所	(大分県)
株式会社丸運ロジスティクス関東 東雲営業所	(東京都)		

一般部門

トヨタカローラ山形株式会社 本社	(山形県)	プライムデリカ株式会社 総務部	(神奈川県)
株式会社福島マツダ	(福島県)	ダイキン工業株式会社 サービス本部 中部サービス部	(愛知県)
パナソニックホームズ株式会社 埼玉支社	(埼玉県)	テクノエイト株式会社	(愛知県)
社会医療法人社団愛有会 三愛病院	(東京都)	ダイキン工業株式会社 名古屋ビル	(愛知県)
森永乳業株式会社 首都圏支社	(東京都)		

上位受賞事業者の取組事例紹介



株式会社ロジパルエクスプレス

所在地：東京都葛飾区東四つ木4-42-5
 業務内容：貨物運送事業・物流管理事業・自動車整備事業
 拠点数：21
 従業員数：544名
 車両数：188台
 活動実績：15



全社で取り組むエコドライブ

毎年見直される環境方針や目標、教育計画に基づき、エコドライブ活動を継続して実施。

活動に関する各種情報や燃費結果などの成果を、掲示板と社内イントラネットを併用することで全社員にタイムリーに展開し、共有。**テレマティクスによる運転診断結果で毎日の運行をチェック**。エコドライブにおける指標として活用。

エコドライブ活動の成果

平成15年度比

24.5%燃費向上
事故件数 17.0%削減
(保険適用の事故)

受賞事業者の声

この度は、国土交通大臣賞という名誉ある賞をいただき、従業員一同大変喜んでおります。これからも「地球環境にやさしい物流」をテーマに活動を継続してまいります。

エコドライブ活動 主な基本取組

取組体制の整備	理念・方針	・エコドライブ推進を組み込んだ環境方針を策定	社長をトップとした組織を構築し、各拠点に環境管理推進委員会を設置
	組織・体制		
教育の実施	目標・計画	・自社マニュアルに年間の行動計画を明記し、全社員に展開	
	周知・説明	・整備専門事業部が、拠点訪問し、整備状況をチェック・指導	
燃費管理	点検・整備	・休憩室等に設置した掲示板に環境問題に関するポスターを掲示	エコドライブ講習会への参加
	環境問題	・年間計画に基づいた月次の実施項目を年度ごとに策定	
活動成果と評価	教育計画	・各種教育資料を拠点毎に保有し、乗務員教育に活用	平成15年度より燃費データを構築
	教育資料	・各拠点のMTG議事録の提出状況を本社で管理	
継続実績と方策	教育記録	・社内イントラネットにて毎月燃費結果を公開し、拠点での教育に活用	社内報「ロジパルニュース」やイントラネットに活動の様子や成果を掲載
	外部セミナー		環境方針、目標値、運輸マネジメント計画の見直しを毎年実施
燃費管理	マイカー教育		
	燃費目標	・車両毎の燃費目標のほか、全体の目標値として前年度比1%UPを掲げる	
活動成果と評価	燃費管理	・エコドライブ走行管理・点検整備記録表に乗務員が手書きで記入	
	燃費分析	・給油データを集計し、拠点別、車種別、車両毎で燃費結果を分析	
活動成果と評価	教育活用	・社内イントラネットにて毎月燃費結果を公開し、拠点での教育に活用	
	過去履歴		
活動成果と評価	燃費向上	・平成15年度比で、全ての車種で燃費が向上	
	事故管理	・全社および拠点毎の無事故日数、事故の情報を一元管理	
活動成果と評価	成果の周知	・エコプロダクツに毎年出展し、エコドライブの取組みについて紹介	
	対外活動		
活動成果と評価	社員評価		
	活動実績	・平成16年度より活動を開始	
活動成果と評価	活動見直し		
	独自工夫		
継続実績と方策	認証登録	・平成17年度より、全てのトラック部門でグリーン経営認証制度取得	
	エコカー等	・全車両にドライブレコーダーを導入し、データをKYTIに活用	

エコドライブ活動 主な応用取組

取組体制の整備

評価ポイント

エコドライブ活動の軸となるマニュアルを自社で作成

自社オリジナルの環境マニュアルと周知の徹底

グリーン経営認証制度の項目に沿って作成された、自社独自の環境マニュアルを策定。環境指針、行動指針、目標値なども盛り込まれており、マニュアル委員会が管理を行い、毎年見直しと更新を実施。ファイリングされ、各拠点に設置されているほか、イントラネットでも閲覧可能となっており、全社員への周知を徹底。



環境マニュアル

教育の実施

評価ポイント

全社一丸となったエコドライブ活動の浸透を実現

エコドライブ活動の取組・成果を全社員で共有

社員の目に入りやすい、各拠点の休憩室などに「みんなの掲示板」を設置。燃費結果などのエコドライブ活動に関する情報や環境問題の啓発資料、自社キャンペーンのポスターなどを掲示。

社内イントラネットでも、燃費や運転診断の得点の分析結果等をタイムリーに展開。環境マニュアルも掲載されており、環境方針や目標などを全社に向けて周知、徹底。様々なツールを活用し、全社員への情報の共有を実現。



みんなの掲示板

教育の実施

評価ポイント

テレマティクスより得られた運転診断結果を教育のツールとして活用

テレマティクスによる運転診断の活用

毎日の運行後、到着確認時にテレマティクスによる運転診断結果を出力。ドライバーは自分の運転結果を必ず確認。

診断結果とともに指導書が出力された場合は、部門長に報告し、ドライブレコーダーの映像を確認。該当者への指導を実施。

運転診断によって算出される得点は社内でのエコドライブにおける指標となっており、毎月の結果は全社に展開される。



運転診断結果



拠点別・車種別の平均点

活動成果と評価

評価ポイント

ドライバーのエコドライブ活動への取組み姿勢や活動成果を評価

社内エコドライブコンテストの実施

日頃の業務、無事故、燃費、運転診断の結果などを基に優秀なドライバーを各拠点より1名ずつ選出し、筆記、実技、日常点検、マナー等様々な審査項目で競い合う「ドライバーコンテスト」を毎年実施。



エコドライブコンテスト



株式会社サンゲツ

所在地：愛知県名古屋市西区幅下1-4-1
 業務内容：流通業(卸売業)
 拠点数：34
 従業員数：1,256名
 車両数：475台
 活動実績：4年



社員と会社、そして地球が幸せになれるエコドライブ

2015年、エコドライブ活動を本格的に開始し、**全営業車にテレマティクスを導入**。その後もエコドライブ支援機器及び安全運転支援機器を積極的に導入するなどハード面と、環境CSRに基づいた様々な取組を行うソフト面、両面から積極的にアプローチを行っている。エコドライブは、社員にとっても、会社にとっても、最終的には地球にとっても良い結果をもたらす取組であるとし、活動を推進。

エコドライブ活動の成果

平成26年度比

23%燃費向上
事故件数 45%削減
(人身事故、対物事故)

受賞事業者の声

この度の環境大臣賞受賞に際しては、様々なメディアにニュース掲載されました。予想以上の反響であり、改めてエコドライブへの関心の高まりを感じた次第です。

エコドライブ活動 主な基本取組

取組体制の整備	全体取組	・CSRの重要課題である環境保全活動の一環としてエコドライブ活動に取り組む	社内イントラネットにて「車両チェック表」を用いた月次管理を実施
	体制・目標	・CSR委員会を構成する組織のひとつである「環境保全分科会」がエコドライブ活動を担当	
教育の実施	環境問題	・エコドライブ普及推進協議会やJAFなどの提供する教育資料を活用	分析したテレマティクスのデータを各拠点に展開し、教育に活用
	教育資料		
燃費管理	燃費管理	・テレマティクスから取得した燃費データを基に、車両別や拠点別など分析を実施	前年比105%向上が目標
	燃費目標		105% UP
活動成果と評価	燃費向上	・平成26年度(活動前)比で23%燃費が向上	ポスター掲示などを通して取引先へのエコドライブ活動の啓蒙
	事故管理	・平成26年度(活動前)比で人身事故、対物事故が44.7%削減	
継続実績と方策	活動実績	・平成27年度より活動を開始	オリジナルの安全ステッカーを営業車に貼付
	エコカー等	・全車両にテレマティクスを導入。その他安全機器の導入やHV車への切り替えも実施	
	独自工夫		

エコドライブ活動 主な応用取組



教育の実施

評価ポイント

環境保全活動の周知のため、興味を持ってもらう工夫を凝らしたツールを活用

自社オリジナル漫画も活用した社内報「eco通信」

エコドライブも含めた環境保全に関わる情報発信のため「eco通信」を環境保全分科会(総務課)が作成し、イントラネットにて月次配信。環境に関するコラムの他、自社オリジナルキャラクターの漫画を作成し、掲載。社内での閲覧だけでなく、自宅に持ち帰り家族に見せる社員もいるなど、環境保全活動に興味を持ってもらうためのツールとして活躍。



eco通信



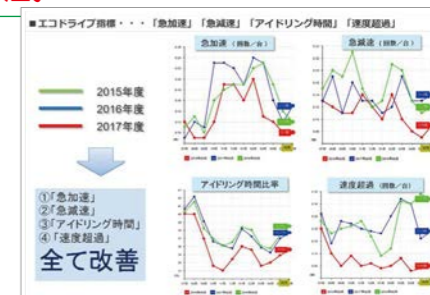
教育の実施

評価ポイント

運転結果の「見える化」により、安全運転だけでなくエコドライブへの意識が向上

テレマティクスを活用した車両データ管理の徹底

全車両にテレマティクスを搭載し、燃費・CO2排出量のほか、急加速回数・急減速回数・アイドリング時間比率・速度超過回数などの運行データを収集し、管理。それぞれ目標値を定めており、各データの対目標値での結果は、本社から拠点へ展開され、担当マネージャーから運転者への指導に使用される。



テレマティクスの運行データの推移



継続実績と方策

評価ポイント

エコドライブ・安全運転のサポートをハード面から推進

エコドライブ支援機器及び安全運転支援機器を積極的に導入

2015年活動開始時に全車両にテレマティクスを導入して以降、2015年9月にはカーナビを標準装備化し、エコドライブ支援機器を積極的に導入。その他、ドライブレコーダー、バックモニター、自動ブレーキなどの安全運転支援機器も標準装備化も実施。また2018年以降、新車入替時にハイブリッド車への切替えも順次実施。



エコドライブ支援機器及び安全運転支援機器導入の流れ



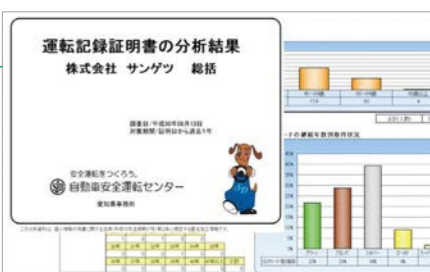
継続実績と方策

評価ポイント

アメとムチの両方の制度を設けることで、社員の安全・エコドライブに対する意識を醸成

表彰制度と懲戒制度による安全・エコドライブ意識の醸成

全従業員500名分の運転記録証明書を年に2回取得し、3年間無事故の従業員に対して表彰を実施。また、業務中の速度超過や携帯電話使用等の自分で気を付けられる違反に対する懲戒制度を設け、違反内容に応じて「厳重注意」「訓戒」「減給」等を取り決め。



運転診断結果



SBS三愛ロジ東日本株式会社 東北物流課

所在地：宮城県柴田郡柴田町中名生神明堂1-1
 業務内容：運輸業(トラック)
 拠点数：1
 従業員数：22人
 車両数：7台
 活動実績：16年



全従業員一体となって取組む改善活動

リコーロジスティクスグループのCSR方針の下エコドライブ活動を推進。デジタルタコグラフで管理する燃費データ分析および **運転分析(波状運転指数)** を用いて乗務員のエコドライブ教育を実施。

全従業員で取り組む提案活動「KAIZEN」や、社内ライセンスの導入など、様々な取組によって環境保全活動を活性化。

エコドライブ活動の成果

平成13年度比
8%燃費向上(中型車)
無事故継続(すべての事故)

受賞事業者の声

活動開始から、初めて優秀賞を受賞する事ができ、とても光栄です。今回の受賞をきっかけに更なるレベルアップを図れるように社内外に浸透を図って行きたいと考えています。

エコドライブ活動 主な基本取組

取組体制の整備	理念・方針 組織・体制 目標・計画 周知・説明 点検・整備	・リコーロジスティクスグループのCSR方針の下活動を推進 ・環境保全活動推進体制を整備し、組織図を作成・掲示 ・エコドライブの推奨を掲げた環境活動計画書を策定 ・配布物や社内イントラネットにて周知	メンテナンスリースを活用し、車両管理を効率化
教育の実施	環境問題 教育計画 教育資料 教育記録 外部セミナー マイカー教育	・実施項目、内容、実施月など具体的に活動計画を策定 ・トラック協会や自動車ディーラーなどの教育資料を活用 ・理解度も記入する省エネ運転教育記録を作成 ・毎年、外部エコドライブ講習会に参加	マイカー向け省エネ運転勉強会を開催
燃費管理	燃費目標 燃費管理 燃費分析 教育活用 過去履歴	・前年比1%向上を年間目標として設定 ・デジタルタコグラフで燃費データを一元管理 ・毎月の乗務員ミーティングで燃費実績・運転評価をフィードバック ・平成13年度より燃費データを構築	システムによる運転評価
活動成果と評価	燃費向上 事故管理 成果の周知 対外活動 社員評価	・平成13年度比で、約8%燃費が向上(中型車) ・活動成果は社内イントラネットに掲示もしくは乗務員ミーティングで周知 ・安全運転およびエコドライブ評価をデジタルタコグラフで実施	社外協力会社の事故対策も実施
継続実績と方策	活動実績 活動見直し 独自工夫 認証登録 エコカー等	・平成14年度より活動開始 ・教育計画や年間目標は毎年見直しを実施 ・オートフルーズ機能や車間距離警報装置を車両に装着	GマークおよびISO14001を取得

エコドライブ活動 主な応用取組

取組体制の整備

評価ポイント 作成したツールを配布だけで終わらせず、朝礼にて全従業員が活用

「環境ポケットブック」の活用による全員参加の実現

リコーロジスティクスグループ全従業員向けに作られた「環境ポケットブック」は、地球温暖化などの環境問題を説明するとともに、リコーグループ環境綱領でも謳ってる「全員参加」を可能にする具体的な取組を掲載。
 トラックドライバーによるエコドライブはもちろん、社有車も含めた点検整備の徹底、事務所のできる節電やペーパーレスなど様々な改善活動も掲載し、毎朝の朝礼時に唱和を実施。

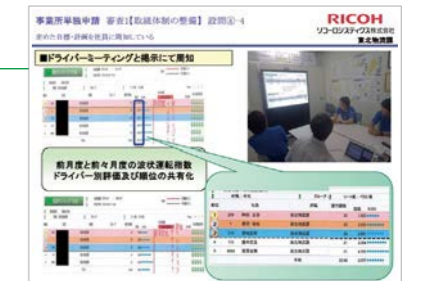


教育の実施

評価ポイント 乗務員の運転に対する評価指標を統一することで公平な評価を実現

波状運転指数による徹底的な運転分析

デジタルタコグラフで走行データ・燃料給油データを集計・分析し、燃費を算出。車両1台ごとに設定した目標燃費に対する達成状況と照らし合わせ、毎月のミーティングで乗務員に振り返りを実施。
 未達成車両および最下位車両に対しては、安全運転とエコドライブ状況を指数で表す「波状運転指数」を基に徹底的に分析し、原因を究明することで次月の目標燃費を達成するためのエコドライブポイントを明確にする。



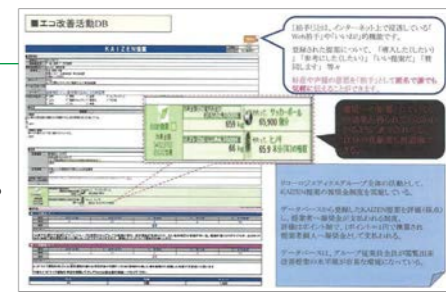
波状運転指標

活動成果と評価

評価ポイント 全従業員が提案し評価されることで、一人一人のモチベーションアップに繋がっている

全従業員が参加する提案活動「KAIZEN」

リコーロジスティクスグループ全体の活動として取り組んでいる「KAIZEN」は、全従業員がそれぞれ、社内データベースに登録した業務改善の提案内容を評価(採点)し、提案者へ報奨金が支払われる制度。
 誰でも閲覧することが可能で、「拍手!」でその提案に対する好意や声援の意思を伝えることが出来、モチベーションにもつながっている。
 また、その提案取組によって、どれだけ環境貢献できているかも表示される。



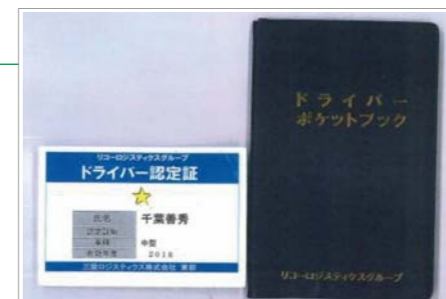
エコ改善活動データベース

継続実績と方策

評価ポイント プロドライバーとしてのより高い意識を育てる制度を構築

プロドライバーを育てる社内ライセンス制度

リコーロジスティクスグループとして、平成13年度より社内ドライバー認定制度を実施。トラックドライバーを対象とした添乗テストを毎年実施するほか、筆記テストも行われ、環境ポケットブックや作業マニュアルなどから出題されるため、日々の朝礼やミーティングに対する取組姿勢が重要視される。
 一定基準を満たした乗務員に社内ライセンスとして「ドライバー認定証」を配布。



ドライバー認定証



日本トラック株式会社 栃木営業所

所在地：栃木県栃木市岩舟町泉615-1
 業務内容：運輸業(トラック)
 拠点数：1
 従業員数：41名
 車両数：36台
 活動実績：16年



体で覚えるエコドライブ

「エコドライブを体で覚える」ことを目標とし、**2004年から継続取得するグリーン経営認証に基づき環境マネジメントを実践**。自社の環境方針とエコドライブ10のすすめをポケットサイズのカードにまとめた「環境方針カード」を全ドライバーが携帯し、社外・社内問わずエコドライブを意識できる環境作りを推進。

エコドライブ活動の成果

平成15年度比
**20%燃費向上
 (大型車)
 無事故継続
 (重大事故)**

受賞事業者の声

2度目となる受賞に驚きつつも活動が評価され大変うれしく、光栄に感じております。今後もドライバーの意識が途切れないように活動を継続し、エコドライブを体で覚えてもらいたいと思います。

エコドライブ活動 主な基本取組

取組体制の整備	理念・方針 組織・体制 目標・計画 周知・説明 点検・整備	<ul style="list-style-type: none"> エコドライブの実施を組み込んだ環境行動計画を策定 営業所毎に、環境責任者、エコドライブ推進責任者、点検整備責任者を配置 環境事務局会議にて毎年計画・目標の見直し、改定を実施 全乗務員が参加する月例の環境保全会議にて、目標のアナウンスを実施 	車両点検整備掲示板にて 当月の点検整備予定を周知 
	環境問題 教育計画 教育資料 教育記録	<ul style="list-style-type: none"> 休憩室の掲示板にて環境保全やエコドライブに関するポスターを掲示 年間の活動計画に沿ったドライバー教育を毎月実施 自社独自の省エネ運転マニュアルを全乗務員に配布 毎月営業所で行う環境保全会議議事録を作成し、保管 	ディーラー主催のエコドライブ講習を 定期的に行い、全ドライバーが受講 
教育の実施	外部セミナー マイカー教育		
	燃費目標 燃費管理 燃費分析 教育活用 過去履歴	<ul style="list-style-type: none"> 毎年4月の環境事務局会議にて、全体及び各車両毎の目標燃費を決定 車格毎、車両毎に走行距離、燃料使用量、燃費を管理 個人別燃費結果の掲示と、月例の環境保全会議で目標に対する比較をフィードバック 平成15年度より燃費データ構築 	テレマティクスを全車両に搭載し、 運行データを燃費管理に活用 
燃費管理	燃費向上 事故管理	<ul style="list-style-type: none"> 平成15年度比で20%燃費が向上 	事故内容を分かりやすいイラスト 入りで報告書にまとめ、展開 
	活動成果と評価	<ul style="list-style-type: none"> 環境保全会議にて、燃費結果等の毎月の活動成果を共有 安全運転評価点成績優秀者を表彰 	
継続実績と方策	活動実績 活動見直し 独自工夫	<ul style="list-style-type: none"> 平成15年度より活動を開始 毎年4月の環境事務局会議にて、次年度の活動計画を策定 	毎年6月を環境活動強化月間とし 啓蒙活動や様々な取組を実施 
	認証登録 エコカー等	<ul style="list-style-type: none"> 平成15年度より、グリーン経営認証制度を継続取得 テレマティクス、ドライブレコーダーを全車両に搭載 	

エコドライブ活動 主な応用取組

取組体制の整備

評価ポイント エコドライブ活動を全社的な取組とするため、目標や成果を全体で共有

グリーン経営認証に基づき環境マネジメントを実践

本社と各拠点の責任者から成る中央環境委員会を組織し、年に数回の全体会議を開くとともに、各拠点でも環境委員会を組織し、毎月全ドライバーを対象とした環境保全会議を実施することで、エコドライブ活動の年間行動計画や目標の周知を徹底。年間目標に基づいた重点活動項目が月毎に決められており、前月の活動の振り返り及び当月の取組内容の確認を実施。



環境保全会議

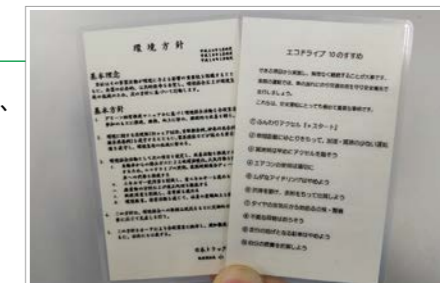
また、燃費結果や安全運転評価点など、エコドライブ活動の成果についてのフィードバックも実施。

教育の実施

評価ポイント 常にエコドライブを意識できる環境作り

全ドライバーが「環境方針カード」を携帯

自社の環境方針と、裏面にエコドライブ10のすすめを記載した、ポケットサイズの環境方針カードを作成。全ドライバーに配布し、常に携帯させることで、いつでも環境保全活動の方針やエコドライブの実施の確認ができるよう工夫。



環境方針カード

教育の実施

評価ポイント 業務で使用するトラックだけでなく、通勤で使う乗用車でもエコドライブを確実に推進

通勤時のエコドライブ教育も毎月実施

営業所がバスなどの公共交通の不便な地域に立地しており、マイカーを使わざるを得ないことから、少しでも環境負荷を減らすため、乗用車に対してもエコドライブ教育を実施。「乗用車のエコドライブテキスト」に沿って毎月の教育項目を計画し、月次会議で説明。掲示も行っている。

月次	項目	内容
1月	燃費	燃費改善に向けた燃費改善活動(燃費改善活動)
2月	燃費	燃費改善に向けた燃費改善活動(燃費改善活動)
3月	燃費	燃費改善に向けた燃費改善活動(燃費改善活動)
4月	燃費	燃費改善に向けた燃費改善活動(燃費改善活動)
5月	燃費	燃費改善に向けた燃費改善活動(燃費改善活動)
6月	燃費	燃費改善に向けた燃費改善活動(燃費改善活動)
7月	燃費	燃費改善に向けた燃費改善活動(燃費改善活動)
8月	燃費	燃費改善に向けた燃費改善活動(燃費改善活動)
9月	燃費	燃費改善に向けた燃費改善活動(燃費改善活動)
10月	燃費	燃費改善に向けた燃費改善活動(燃費改善活動)
11月	燃費	燃費改善に向けた燃費改善活動(燃費改善活動)
12月	燃費	燃費改善に向けた燃費改善活動(燃費改善活動)

乗用車のエコドライブ教育計画

継続実績と方策

評価ポイント 前年度のエコドライブ活動の成果を振り返り、次年度の活動に活用

数値に基づく行動計画の見直しによる適正な燃費目標設定

毎年4月に開催される「環境事務局会議」にて、テレマティクスから得られた拠点・車格別の燃費データの過去の推移と目標達成率を基に、環境行動計画を見直し、次年度の目標燃費などを策定。

計画の見直しを行い、状況に応じた適正な目標を設定することで、エコドライブ活動に対するドライバーのモチベーション維持につなげる。

環境行動計画



有限会社古川商事運輸 本社営業所

所在地：東京都三鷹市新川2-2-6
業務内容：運輸業(トラック)
拠点数：1
従業員数：14人
車両数：14台
活動実績：6年



徹底した車両点検と乗務員教育

2010年に東京都トラック協会が開催する「グリーンエコプロジェクト」に参加し、エコドライブ活動を本格的にスタート。基本的な燃費管理や乗務員教育に加え、エコ・安全対策として月に1回 **緑** **グリーン経営認証に基づき設定した、独自の基準による点検整備を実施。**特にタイヤ点検に関しては、適正な空気圧はもちろん、タイヤ溝の確認まで徹底的に実施。

エコドライブ活動の成果
平成23年度比
13.9%燃費向上 (中型車)
事故件数100%削減 (保険適用事故)

受賞事業者の声
優秀賞ありがとうございます。エコドライブ活動に対してドライバー1人1人が取り組む理由と効果を良く理解する事が地球・会社・家族を守ることに繋がると思います。

エコドライブ活動 主な応用取組

取組体制の整備

評価ポイント 「キャビン上げ」点検とともに、環境、安全両面において重要なタイヤ点検を徹底

グリーン経営認証に基づいた独自の点検整備基準を設定

月に1回、グリーン経営認証の審査で求められる黒煙チェック、エアコンの利き具合など、キャビン上げで点検できるエンジンオイル量、ラジエーター水量、ファンベルトの緩みをはじめ、様々な点検項目を自社独自のチェックシートを用いて乗務員自身が実施。
特にタイヤの空気圧は、車両積載量ごと設定された適正空気圧を参考に確認し、同時にタイヤ溝の残量チェックし、タイヤ溝が3mm以下になっている場合はタイヤ交換を実施。



キャビン上げ点検

教育の実施

評価ポイント 外部からの情報などを活用して、常に新しい情報を発信

最近の情報を取り入れたマンネリ化させない乗務員教育

毎月実施している乗務員ミーティングでは、マンネリ化させないように管理者が工夫。
燃費結果のフィードバックなど毎回実施する内容に加え、経営者自らが外部セミナーなどから情報収集した最新の環境問題やその対策などを教育に活用することで、ミーティングでの意見交換などを活性化。



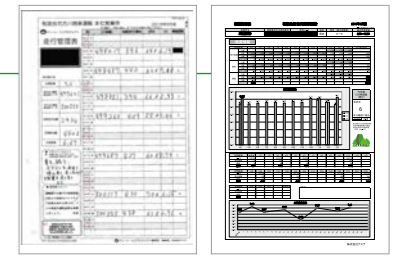
年間の行動計画

燃費管理

評価ポイント 外部評価結果も活用することで燃費管理の手間を軽減

車両毎の客観的な燃費比較結果をフィードバック

2010年より参加している東京都トラック協会主催「グリーンエコプロジェクト」で自社の車両の燃費データを構築。
毎月手書きの走行管理表をトラック協会に提出すると、同車種比較での偏差値やエコドライブによるCO₂削減量などが掲載された帳票がフィードバックされ、自社の乗務員教育ツールとして活用。



グリーン・エコプロジェクト帳票

継続実績と方策

評価ポイント 客観的に評価されることで、自社の取組みの課題や改善点を発見

自治体の格付け評価制度を客観的指標として活用・継続

東京都が自動車からのCO₂削減を推進する仕組みとして運用する「東京都貨物輸送評価制度」において5年にわたり評価を取得し、優秀事業者として認定。
エコドライブ等の日常的な努力を実走行燃費で評価するこの制度を、自社のエコドライブ活動の評価指標として活用することで、より一層のエコドライブによる燃費向上に努めている。



東京都貨物輸送評価制度 優秀事業者認定書

エコドライブ活動 主な基本取組

取組体制の整備	理念・方針	・エコドライブの実践を組み込んだ環境方針を策定	班体制を活用した環境保全活動を推進
	組織・体制		
教育の実施	目標・計画	・グリーン経営認証に基づいた年間行動計画を策定	環境保全活動 A班 B班 C班
	周知・説明 点検・整備	・事務所、休憩所にエコドライブ推進目標を掲示	
燃費管理	環境問題	・東京都の環境対策など具体的な内容を乗務員に教育	外部セミナーに積極的に参加
	教育計画 教育資料 教育記録	・年間の教育計画を策定 ・外部セミナーで入手した資料を活用 欠席者のフォローアップも含めた議事録を作成・管理	
燃費管理	外部セミナー		手書きの走行管理表を運用
	マイカー教育		
活動成果と評価	燃費目標	・前年比1%向上を年間目標として設定	活動成果は事務所に掲示 もしくは乗務員ミーティングで周知
	燃費分析 教育活用 過去履歴	・毎月の乗務員ミーティングで燃費実績の振り返りを実施 ・平成23年度より燃費データを構築	
継続実績と方策	燃費向上 事故管理	・平成23年度比で、約14%燃費が向上(中型車) ・事故種別毎に事故件数を集計	バックモニターを車両に装着
	成果の周知	・東京トラック協会 多摩支部にて自社の取組事例を発表 ・燃費向上を一定基準達成した乗務員に表彰状を授与	
	活動実績	・平成24年度より活動開始	
	活動見直し 独自工夫 認証登録	・教育計画や年間目標は毎年見直しを実施 ・東京都貨物輸送評価制度を5年連続評価取得	
	エコカー等		



日本トラック株式会社 藤沢営業所

所在地：神奈川県藤沢市菖蒲沢555-1
業務内容：運輸業(トラック)
拠点数：1
従業員数：55名
車両数：52台
活動実績：16年



エコドライブ活動を継続する工夫

2004年よりグリーン経営認証に沿った環境行動計画を策定し、長年にわたりエコドライブ活動を継続して実施。
全車両にテレマティクスを導入し、毎日の運行データから算出される安全運転評価点をドライバー教育に活用。
毎年6月を「環境活動強化月間」に設定しており、社内外に向けた様々なエコドライブの啓蒙活動を実施。ドライバーの意見を取り入れた活動を行うなど、マンネリ化の防止にも努める。

エコドライブ活動の成果

平成15年度比
14%燃費向上 (大型車)
無事故継続 (重大事故)

受賞事業者の声

長年続けてきた活動が評価されたことに喜びを感じています。活動がマンネリ化しないよう工夫を凝らしてきましたが、今後も大切な内容は何度も繰返すことを継続し、更なる向上を目指します。

エコドライブ活動 主な基本取組

取組体制の整備	理念・方針 組織・体制	・エコドライブの実施を組み込んだ環境行動計画を策定 ・営業所毎に、環境責任者、エコドライブ推進責任者、点検整備責任者を配置	環境事務局会議で 計画・目標の見直し、改定を実施
	目標・計画	・全乗務員が参加する月例の環境保全会議にて、目標のアナウンスを実施	計画・目標 290日無事故 見直し 改定 会議
教育の実施	周知・説明 点検・整備	・休憩室の掲示板にて環境保全やエコドライブに関するポスターを掲示	年間の活動計画に沿った ドライバー教育を毎月実施
	環境問題 教育計画	・環境方針カードと自社独自の省エネ運転マニュアルを全乗務員に配布 ・毎月営業所で行う環境保全会議議事録を作成し、保管 ・ディーラー主催のエコドライブ講習会を定期的に開催し、全ドライバーが受講 ・乗用車のエコドライブ教育計画を別途策定し、年間を通して乗務員への教育を実施	
燃費管理	教育資料 教育記録 外部セミナー マイカー教育	・毎年4月の環境事務局会議にて、全体及び各車両毎の目標燃費を決定 ・テレマティクスを全車両に搭載し、運行データを燃費管理に活用 ・車格毎、車両毎に走行距離、燃料使用量、燃費を管理	燃費結果を月例会議で フィードバック
	燃費目標 燃費管理 燃費分析	・平成15年度より燃費データ構築	燃費結果 (L/km) 4月 7.39 5月 7.20 6月 8.23
活動成果と評価	燃費向上 事故管理 成果の周知 対外活動	・平成15年度比で14%燃費が向上 ・事故内容を分かりやすいイラスト入りで報告書にまとめ、ドライバーへ展開 ・月環境保全会議にて、燃費結果等の毎月の活動成果を共有	安全運転評価点 成績優秀者を表彰
	社員評価	・平成15年度より活動を開始 ・毎年4月の環境事務局会議にて、次年度の活動計画を策定 ・平成15年度より、グリーン経営認証制度を継続取得	表彰状
継続実績と方策	活動実績 活動見直し 独自工夫 認証登録	・テレマティクス、ドライブレコーダーを全車両に搭載	テレマティクス、ドライブレコーダーを 全車両に搭載
	エコカー等		ドラレコ テレマティクス

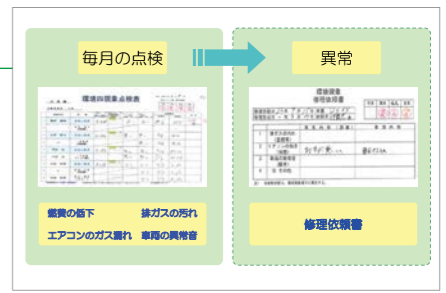
エコドライブ活動 主な応用取組

取組体制の整備

評価ポイント
ドライバー同士のコミュニケーションを活かした点検整備体制

ドライバー主体の点検整備体制を構築

グリーン経営認証の環境経営に基づき、4つの環境現象(燃費の低下、エアコンのガス漏れ、排ガスの汚れ、車両の異常音)についてドライバー自身が毎月点検を実施。異常が見つかった場合、即座に点検整備責任者に報告し、整備等対応する体制。
その他当月の車検や3ヶ月点検、タイヤやエンジンオイルの交換予定について、休憩室の掲示版を利用して周知。情報を共有することで、ドライバー同士が互いに声を掛けあえるよう工夫。



環境四現象による点検

教育の実施

評価ポイント
教育計画に基づいた乗務員教育を毎月実施

ドライバー教育の年間計画を作成し、拠点毎に確実に実行

毎年見直される環境保全計画に合わせ、拠点毎にドライバー教育について年間教育計画を策定。「エコドライブ10のすすめ」等に基づき、毎月重点的に取り組む項目を決め、月次の環境保全会議においてドライバー教育を実施。さらに毎月の重点項目に対する実施台数等の結果も拠点毎に数値で確認。

環境活動報告

活動成果と評価

評価ポイント
活動の成果を見える化し、まじめに取り組むドライバーを表彰するなど、多方面で活用

テレマティクスの指導・人事考課・教育への活用

全車両に搭載したテレマティクスにより、日々の運行データを管理。燃費データだけでなく、安全運転について算出される評価点を、ドライバーへの指導に活用。テレマティクスで解析した運行データから算出される、安全運転評価点でドライバーの運転を月ごとに採点。1年間を通して100点満点を取得したドライバーの表彰を行う。また、運転の実績が詳細に分析される「運行レポート」を毎日の運行後に点呼者が見て、燃費が伸び悩むドライバーへ助言するなど、教育に活用。

運行レポート

継続実績と方策

評価ポイント
ドライバーのさらなる意識付けを目指し、趣向を凝らした取組を実施

毎年6月を「環境活動強化月間」に設定

毎年6月を環境活動強化月間として、全社を挙げて社内外に向けた啓蒙活動を実施し、事務所や車両、駐車場外壁などに横断幕のぼりを掲出。
その他、ドライバー向けとして、毎日燃費を手書きで記録する取組や、最終日にはエコドライブについてのアンケートを実施。ドライバーの意見を積極的に活動に取り入れている。



環境活動強化月間の啓蒙活動



若松ガス株式会社

所在地：福島県会津若松市千石町4-16
 業務内容：ガス供給業
 拠点数：7
 従業員数：172名
 車両数：118台
 活動実績：10年



自社独自の取組でエコドライブ活動を継続

管理者が受講した教習所でのエコドライブ講習をきっかけに活動開始。自社の燃費管理のルールをまとめた「車輛燃料管理手順書」を策定し、円滑に燃費の記録・分析・管理ができる体制を構築。

全社員向けの環境教育を、オリジナルで作成したテスト形式で実施。独自の工夫を凝らした取組を通して、営業・ガス供給・工事車両でエコドライブ活動を継続。

エコドライブ活動の成果

平成22年度比
13.6%向上
 (ガンリン車)
事故件数40%削減
 (保険適用外も含む)

受賞事業者の声

環境にやさしい会社を目指して十数年前より様々な取り組みを実施していますが、その中でも環境影響が大きいエコドライブ活動が評価された事は弊社の今後の環境保全活動の励みになります。

エコドライブ活動 主な基本取組

取組体制の整備	全体取組	・ISO14001を取得し、環境保全活動の一つとしてエコドライブ活動を実施	年に4度安全運転管理者による「車両外観点検」を実施
	体制・目標	・社長を最高責任者とした環境マネジメントシステム推進体制を整備	
教育の実施	点検・整備	・車両点検表を用いて車両担当者が実施	
	環境問題		安全運転講習会を年2回全拠点で実施
燃費管理	教育資料	・月間の運転を振り返る「エコドライブ実施状況アンケート」を毎月全社員が実施	安全運転講習会
	燃費管理		各拠点ではフィードバックされた結果をもとにドライバーへ指導を行う
活動成果と評価	燃費目標	・燃費管理責任者である車両燃費実施リーダーを部署毎に配置 ・前年度比97%以上の車両が全体の8割となることを目標として設定	地球にやさしい“ふくしま”県民会議津地方会議にて環境保全活動に関する講演
	燃費向上	・平成20年度比で、7.6%燃費が向上	地球にやさしい“ふくしま”県民会議津地方会議
継続実績と方策	事故管理	・交通事故防止キャンペーンを実施	運転記録証明を毎年取得し、継続して無事故無違反の社員を表彰
	対外活動	・平成26年に「会津若松環境大賞」、平成27年に「うつくしま ふくしま 環境顕彰」 ・平成28年に「地域環境保全功労者表彰(環境大臣表彰)」を受賞	
活動実績	活動実績	・平成20年度より活動開始	
	エコカー等	・テレマティクス(通信型ドライブレコーダー)を全車両に導入 ・テレマティクスで測定する安全運転評価及びエコ運転評価において好成績を取得した社員を表彰	

エコドライブ活動 主な応用取組

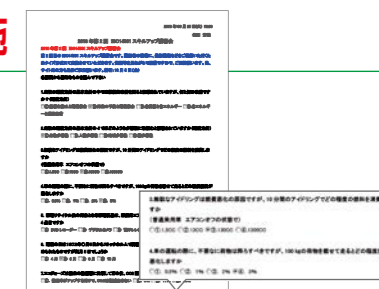
取組体制の整備

評価ポイント イントラネットで回答できるクイズ形式にすることで、全社員が参加しやすい工夫

自社オリジナルのテスト形式で全社員への環境教育を実施

年に2回、社内イントラネットを通じて環境問題についての教育を目的とした「ISO14001 スキルアップ講習会」をテスト形式で実施し、全社員からの回答を徹底。

テスト問題は、エコドライブ活動を含む社内での環境保全活動に関するものから一般常識まで、自社オリジナルの内容で作成。



ISO14001 スキルアップ講習会

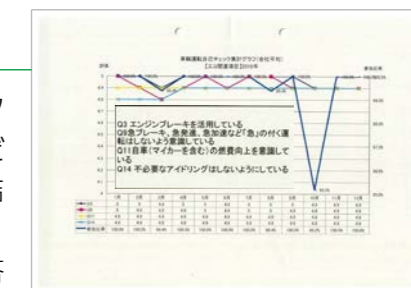
教育の実施

評価ポイント 毎月振り返りを実施することで、エコドライブのコツやポイントが浸透

毎月の「車両運転自己チェック」の全社展開

「車両運転自己チェック」を毎月全社員対象で実施。「早めのアクセルオフを行っている」「急の付く運転はしないようにしている」などの項目を設け、社員が自分の運転を振り返るツールとして活用。結果は拠点毎で集計し、社内イントラネット上で共有される。

業務上で車両を使用しない社員は自家用車の運転について回答しており、全社的なエコドライブ活動の取組として展開。



車両運転自己チェック 分析結果

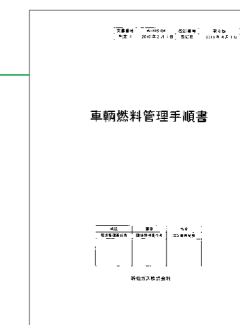
燃費管理

評価ポイント 運用のルールを明確にし、スムーズな燃費管理を実現

「車輛燃料管理手順書」に基づいた燃費管理

燃費管理のルールをまとめた「車輛燃料管理手順書」を策定。車両管理者が給油量や走行距離、点検記録などを記入する「車両点検表」にて給油毎の燃費を記録。

月次で拠点の責任者が回収し、ISO事務局に報告。人事・総務がデータを取りまとめ、拠点にイントラネットを通じて展開される。フィードバックされたデータは拠点で社員への指導に活用。



車輛燃料管理手順書

継続実績と方策

評価ポイント エコドライブの成果を見える化し、拠点での社員指導に活用

テレマティクスの全車両への導入と活用

テレマティクス(通信型ドライブレコーダー)を全車両に導入。運行日報を出力することで「安全エコ運転分析」「危険運転状況」などのデータを車両別、日別、月別などで確認することが可能。

各拠点での閲覧も可能で、安全・エコ運転の頻度や点数を見える化することで改善点が明らかになり、社員のエコドライブ・安全運転への意識を醸成。



運行日報



株式会社日立産機ドライブ・ソリューションズ

所在地：千葉県習志野市東習志野3-15-11
 業務内容：環境関連サービス事業
 拠点数：1
 従業員数：活動部門180名(全社761名)
 車両数：89台
 活動実績：11年



エコドライブの浸透=安全運転の定着化

自社の環境方針及び日立グループ「日立環境イノベーション2050」に基づき、環境保全の一環として本社及び神奈川地区の試料採取、工事立ち会い、営業などの全社有車でエコドライブ活動を推進。
 運転手自らが日々記入した日報に基づき、環境ISO推進グループが、**環境ISO14001に基づいたPDCAサイクルに沿って、活動の進捗状況・結果の原因分析などを確実に実施**することで、環境保全に加え安全にも繋がっている。

エコドライブ活動の成果

平成19年度比
12.0%燃費向上
 (全社平均)
事故件数-
 (保険適用の事故)

受賞事業者の声

優秀賞受賞をホームページに掲載することで、エコドライブ活動への取り組みをPRすることが出来ました。今後はエコ安全ドライブを目指して活動します。

エコドライブ活動 主な基本取組

取組体制の整備	全体取組	日立グループ全社方針の下、エコドライブを推進
	体制・目標	・ISOマネジメントシステムによる組織体制を構築
教育の実施	点検・整備	・点検整備は運転手自ら実施した記録を日報に記入
	環境問題	・公的団体の資料を取り寄せ活用
燃費管理	教育資料	・エコモ財団の資料や自工会等の動画などをイントラネットに掲載し活用
	燃費目標	・現状を下回らないよう、従業員に周知
活動成果と評価	燃費向上	・平成28年度比で、2.9%燃費が向上
	事故管理	・事業部別事故件数を集計・分析
継続実績と方策	対外活動	・自治体主催のエコドライブセミナーにて活動事例を発表
	活動実績	・平成19年より活動開始
	エコカー等	・ドライブレコーダーを81台に装着
	独自工夫	・車両更新時に積極的にエコカー(ハイブリッド車、低燃費車)を導入

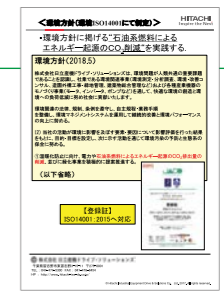
エコドライブ活動 主な応用取組

取組体制の整備

評価ポイント 各担当者にPDCAサイクルに沿った具体的な役割を設定

環境ISO14001に基づいたPDCAの着実な実践

環境方針に基づき、環境ISOでの実行プログラムにおいて環境管理を目標として環境保全活動を展開。
 エコドライブにおいても、社長をトップとした管理体制を構築し、目標の立案～教育～レビュー～評価・表彰のPDCAサイクルを推進。



環境方針

燃費管理

評価ポイント 外部講習を活用することで、客観的なエコドライブレベルが見える化

外部エコドライブ講習の活用

毎年、(公財)交通エコロジー・モビリティ財団(エコモ財団)が認定するエコドライブ講習会に、各部門から選出した従業員複数名が参加。
 受講した従業員はエコドライブの効果を他の社員にも感じてもらえる様、定期ミーティングの場等で自身のエコドライブ診断結果などを報告。



エコモ財団認定の講習に参加

教育の実施

評価ポイント 乗務員に新たな発見・気づきの機会を創出

タッチパネルによる自動車運転適性検査の実施

自動車運転適性審査を本社にて実施。
 50インチの大型タッチパネルを利用した2つの診断(視野の広さと反応、速度予測と判断力)とパソコンでの立体映像による3つの診断(動体視力、距離感覚、眼の動き)を行い運転者の視機能を判定。
 当日は70名が参加し、安全運転の定着化を図る。



自動車運転適性検査

継続実績と方策

評価ポイント ハイブリッド車購入の判断材料として、エコドライブ実績値を活用

社内報「HEART & HEART」の発行

社内に編集委員を設置し、社内報を毎月発行。
 本コンクールの受賞結果や、対外活動、エコドライブ教育など様々な情報を定期的に発信。
 社内イントラネットにも掲載することで全従業員が閲覧可能。



社内報「HEART & HEART」



株式会社エスアールエル

所在地：東京都新宿区西新宿2-1-1
 業務内容：サービス業
 拠点数：143
 従業員数：5,631名
 車両数：1,602台
 活動実績：7年



ドライバーに焦点を当てきめ細やかな活動を継続

親会社であるみらかホールディングスのCSR方針に基づき、ISO14001を取得。掲げている環境方針のひとつとしてエコドライブ活動を全社の検体集荷・営業車両で実施。ハード面の導入だけでなく自社独自のエコドライブマニュアルの作成や、**役職・配属先に応じた各種講習を開催し実践的なエコドライブ教育を実施**するなど、運転する「人」に重きを置いたエコドライブ活動を継続して実施。

エコドライブ活動の成果

平成23年度比
16.8%燃費向上
 平成26年度比
事故件数26.4%削減
 (人身事故、対物事故)

受賞事業者の声

今回の受賞が当社グループの社内報で掲載され、さらに当社グループのCSR活動においても顕著な功績として社内表彰を受賞することができました。

エコドライブ活動 主な基本取組

取組体制の整備	全体取組	・平成23年にISO14001を取得し、エコドライブを含む環境保全活動を継続して実施	車両燃費は「前年度比1%向上」を目標として掲げる
	体制・目標	・毎年1回、全社員に向けての環境教育を実施し、運用の変更や目標を確認	1% UP 昨年度 今年度
教育の実施	環境問題	・社内独自の「エコドライブマニュアル」を作成	社内イントラネット上に「環境掲示板」を開設し、環境情報を共有
	教育資料	・全5項目の運行前点検を乗車の際に必ず実施し、「車両管理表」に記録	環境掲示板
燃費管理	燃費管理	・「車両管理表」に車両担当者が記録した給油データをもとに、本所で燃費の分析を実施し、全国へフィードバック	将来的に自社開発業務アプリでの燃費管理を目指す
	燃費目標	・前年度比1%向上が目標。その他、エリア毎の目標燃費を毎年設定	環境報告書
活動成果と評価	燃費向上	・平成23年度比で16.8%向上	毎年「環境報告書」を発行し、自社での取組内容や成果を広く公開
	事故管理	・事故の発生件数と損害額の推移を集計し、分析	車両後部にエコドライブステッカーを貼付。社外への啓蒙も実施
継続実績と方策	活動実績	・平成23年度より活動開始	
	エコカー等 独自工夫	・ハイブリッド車及び燃費性能の高い車両への切り替えの他、ブレーキアシスト機能を標準装備化。テレマティクスの導入も推進 ・無事故無違反キャンペーンの実施	

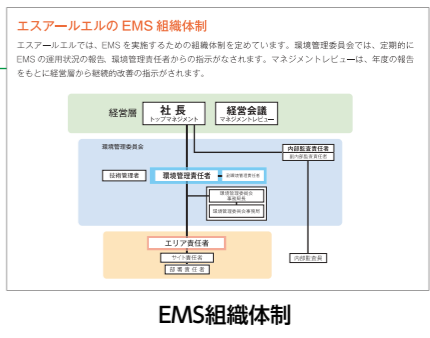
エコドライブ活動 主な応用取組

取組体制の整備

評価ポイント 会社としての環境保全活動が全国各地の拠点に浸透する仕組み

環境マネジメントシステムで取り組むエコドライブ

社長をトップとした環境マネジメントシステム(EMS)によりエコドライブ活動を推進。四半期ごとに環境管理責任者等で構成された環境管理委員会を開催し、全国における活動の進捗を確認。各拠点では、全拠点を15のエリア(管理単位)に分け、エリア毎の責任者を選定し、活動を実施。業務車両を保有しているエリアでは、エリア毎の燃費向上の目標を設定するなど、全社を挙げて取り組める体制を構築。



教育の実施

評価ポイント エコドライブの意識向上や事故撲滅のため、役職や配属先に応じた様々な講習を開催

冬道体験講習等の実践的なエコドライブ教育を実施

新入社員の新人研修カリキュラムに自動車教習所での実技講習を取り入れ、運転技術だけでなく、エコドライブを意識した運転の習得を推進。また、拠点長研修では外部講師を招き、「安全運転管理者講習会」を導入。その他にも、積雪の少ない地域から積雪地域へ異動となった社員を対象に雪道での重大事故を防ぐため、「冬道体験講習会」を実施するとともに、ハイブリッド四駆車も導入。



冬道体験講習会 ポスター

活動成果と評価

評価ポイント 全社で事故撲滅を目指すために拠点毎に取組める工夫

「事故ゼロボード」による安全意識の向上

事故撲滅の対策として、拠点毎に無事故日数を明記した「事故ゼロボード」を作成し、全拠点に配布。定期的に拠点毎の無事故日数ランキングを展開し、拠点の担当者がボードの無事故日数を更新する。各拠点では、毎日の朝礼時に無事故連続日数を読み上げ、事故ゼロを目標とし、社員の意識の向上を目指すためのツールとして活用。



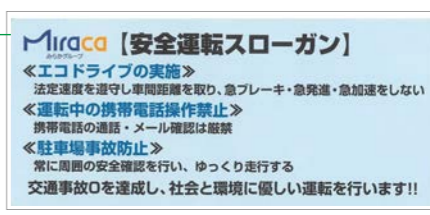
事故ゼロボード

継続実績と方策

評価ポイント 常にエコドライブと安全運転を意識できる環境作り

「安全運転スローガン」等の各種ステッカーの工夫

自社で「安全運転スローガン」を策定。オリジナルのステッカーを作成し、社内車両の運転席から見える位置に貼り付け、安全・エコドライブ意識を醸成するとともに、車両後部に「エコドライブしています」ステッカーを貼り付け、外部へアピール。その他にもエコドライブ10のすずめから5項目をピックアップし作成した「エコドライブ5」ステッカーも車内に貼付。社員に向けてのさらなるエコドライブの啓蒙がねらい。



安全運転スローガン



かわさき自動車環境対策推進協議会

所在地：川崎市川崎区宮本町1番地
 活動目的：環境対策・地球温暖化対策の推進
 参加規模：27機関
 活動実績：6年



受賞事業者の声

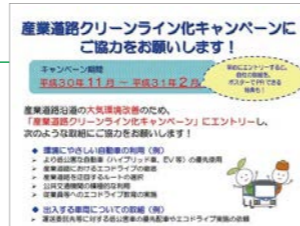
企業・市民・関係団体・関係行政機関がそれぞれの強みを生かして連携した活動を行うことは、環境問題解決の大きな推進力となります。この受賞を励みに、自動車を取り巻く環境対策の活動をさらに進めていきます。

団体の概要

かわさき自動車環境対策推進協議会は、川崎市を中心に立地する事業者10企業、市民代表2団体、関係団体7団体、関係行政機関7機関及び川崎市の相互の連携の下、平成24年4月に自動車環境対策を総合的かつ計画的に推進することを目的として設立。エコドライブを自動車環境対策の重要項目と位置づけ、各企業、関係団体等が連携して事業を積極的に実施している。

産業道路グリーンライン化キャンペーン

川崎市内の産業道路を利用する市内外の事業者が対象となり、毎年11月から2月をキャンペーン期間とし、産業道路グリーン化のために取り組む内容をエントリーシートに記載し参加できる事業者を募集。バスマップの広告欄やポスターなどで、参加事業所の取組内容を市民に向けて周知。平成26年度から開始し、のべ93事業所が参加。



産業道路グリーンライン化キャンペーン



講習会の様子

エコドライブ講習会の開催

JAFと連携し、事業所へ出張形式で座学講習会を実施する出張エコドライブ講習会を開催。その他にも、三菱ふそうトラック・バス株式会社と連携し、トラック向けのエコドライブ講習会を開催。

エコ運搬制度の推進

条例により川崎市内に位置する事業所は、出入りする運送業者に対して「エコ運搬」の要請が努力義務として課されており、さらに一定の規模以上の事業所に対しては義務化されている。「エコ運搬」の3つの取組のひとつとして「エコドライブの実施及びエコドライブを行う旨の表示」が含まれる。エコ運搬の要請件数は毎年1万件程度。



川崎市のエコ運搬制度概要



エコ通勤セミナー

エコドライブ等による環境配慮の推進

協議会の各企業、団体等においても、自主的にエコドライブに関する普及啓発として「環境マイスター認定研修会」や「ドライバー向けエコドライブ実車講習会」等の事業を毎年実施。

また、平成26年度から平成28年度には「エコ通勤優良事業所認証制度」について紹介し、エコ通勤(マイカー通勤者に対して公共交通機関への利用転換など)を呼び掛けるセミナーも開催。



熊本県ストップ温暖化県民総ぐるみ運動推進会議

所在地：熊本県熊本市中央区水前寺6丁目18番1号
 活動目的：温室効果ガス削減
 参加規模：6,251名
 活動実績：10年



団体の概要

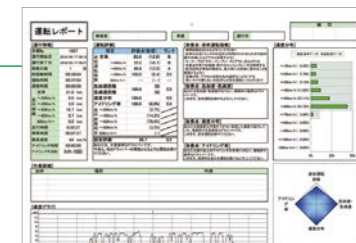
県民一人ひとりが無駄なエネルギーを一切使わないよう生活スタイルや企業の活動などをもう一度見直し、温室効果ガス削減の取組を一層進めていくため、平成20年8月に発足した県民運動。熊本県では中心部以外では自動車が主な移動手段となっていることを踏まえ、エコドライブに注目。
 エコドライブについては、① エコドライブ実施による燃費の向上 ② 将来的なノーマイカー通勤運動の取組拡大 ③ 運輸部門における温室効果ガスの排出削減を目標として掲げる。現在の参加規模は、自治体・企業などで624団体、参加メンバーは6,251人。

受賞事業者の声

審査委員長特別賞を受賞でき、大変光栄に思います。これからも熊本県内でエコドライブのさらなる普及を目指し、活動していきたいと考えています。

波状運転指数を測る「エコドライブ診断」

熊本県と協働し、GPS受信機を使用した安全運転エコドライブ支援システムによる「エコドライブ診断」を推進。車両ではなく、運転をする人を管理するための機器で、社有車や自家用車など、乗る車が変わってもエコドライブの状況が診断可能。事務局が機器を購入し、参加者に貸出。波状運転指数、急加減速の回数と頻度、速度分布、アイドリング率の4つの指標で診断。運転状況を可視化し、数値化することで エコドライブ指導の指標として活用。



エコドライブ支援機器による運転サポート



エコドライブ診断リレー出発式

県民総ぐるみでの「エコドライブ診断リレー」

安全運転エコドライブ支援システムを使用した「エコドライブ診断」をリレー形式でつなぐ、「エコドライブ診断リレー」を開催。県内の各企業・団体から5人ずつが参加。約1か月間診断を行い、次の企業・団体にエコドライブ診断機器を引き継ぐ。平成29年度と平成30年度12月末までの累計参加実績は、61団体・企業、304人。個人での参加も可能で、環境イベント等で広く周知。診断結果の改善率を競う「エコドライブコンテスト」を実施し、優秀者を表彰。

熊本ノーマイカー通勤デー・パレード

ノーマイカー通勤の普及啓発・参加促進を図り、環境にやさしい安心安全なまちづくりに繋げることを目的とし、毎年実施。

平成30年度は事業者・行政・環境団体等約200名が参加し、ノーマイカー通勤を呼びかけながら、約1.1Kmの距離を行進。

その他、毎月第3水曜日を県下一斉ノーマイカー通勤デーとし、呼びかけを行っている。



パレード当日の様子

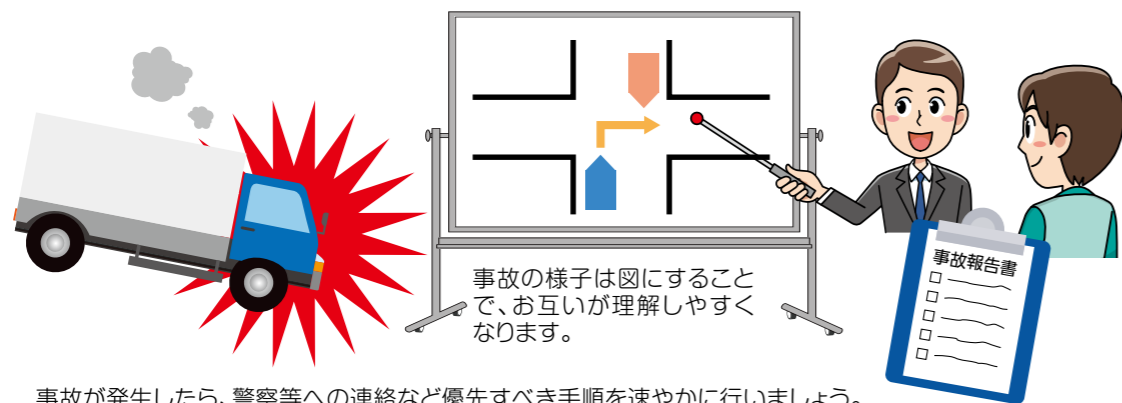
エコドライブ活動の基本取組 「活動の成果と評価」のイメージ

上位受賞事業者の「活動の成果と評価」の取組をまとめたので参考にしてください。

① 事故報告書の作成

事故が起きてしまったら、

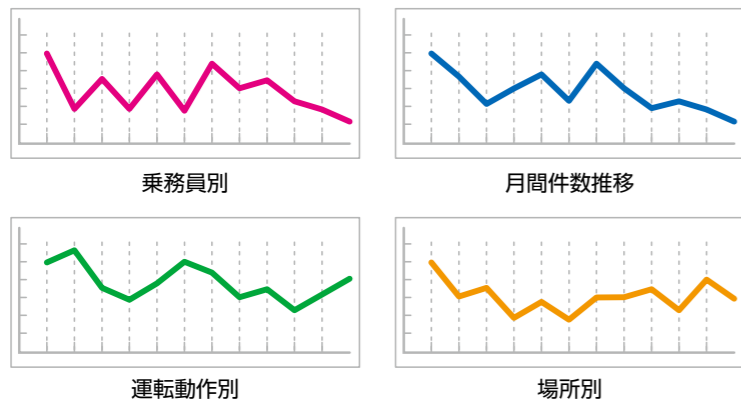
対面指導



事故の様子は図にすることで、お互いが理解しやすくなります。

事故が発生したら、警察等への連絡など優先すべき手順を速やかに行いましょう。その後会社に連絡し、事故報告書を作成することになりますが、できるだけ管理者が対面でヒアリングを行いながら作成しましょう。事故の詳細をヒアリングするだけでなく、乗務員の事故に対する「気づき」を与える意味でも重要な指導となります。

② 事故データの管理・分析



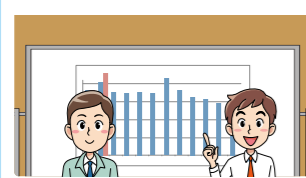
同じ事故を他の乗務員が起こさないように、自社の事故データを分析し、傾向を見つけてみます。



最近ではテレマティクスなどのデータも活用できます

② 事故データの活用

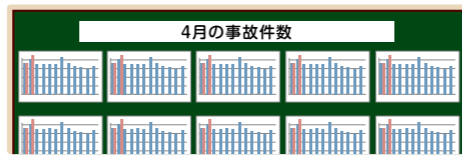
ミーティングでのフィードバック



毎日の点呼や、月例のミーティング等で事故状況を正確に伝えましょう。

どうすればこの事故は防げたのかなど、危険予知トレーニングとしても活用しましょう。

掲示によるフィードバックやキャンペーンでの活用



ドライバー同士で燃費やエコドライブについて話し合い、エコドライブを楽しめる環境をつくりましょう。

安全運転はエコドライブの各項目と相互に関係しているため、自然とエコドライブにも繋がります

上位受賞事業者以外の特徴的な取組事例紹介 (都道府県別)

上位受賞事業者以外の特徴的な取組事例を紹介します。

▶ グリーンエコ省エネ運転比較表

株式会社エスティーシステム
水戸営業所

事業部門
優良賞

東京トラック協会「グリーン・エコプロジェクト」に参加しており、燃費データを使用したオリジナルの帳票を作成し、ドライバーにわかりやすく展開。

車両毎の帳票には担当ドライバーの写真を入れるなど工夫し、エコドライブ教育に活用。



▶ ゼロおっとキャンペーン

国際自動車株式会社
羽田営業所

事業部門
優良賞

急減速をすると後部座席のお客様が「おっと」と言うことから、急減速を「おっと」と称し、デジタコの運行日報を活用し「おっと回数」を徹底的に管理。

1乗務の平均を「0.5おっと」を目標として設定し、達成者には翌月の結果発表時に行われる抽選会の抽選権を贈呈。



▶ 多様な実車講習会の実施

ユニリーバジャパン・
カスタマーマーケティング株式会社

一般部門
優良賞

入社・異動時の「初心者講習」、定期的な「リフレッシュ講習」、積雪地域の赴任者への「雪道講習」など、実車講習を重点的に実施。講習の評価によって、再受講や技能チェック受講を決定。リース会社と連携することで、リース車特有のインジケータを用いたエコドライブ方法も指導。



▶ 「グループ活動」表彰制度

平沢運輸株式会社
磯子営業所

事業部門
優良賞

グループ活動を活性化し、乗務員間で不安全行動を注意しあえる風土を醸成するため、各営業所にてグループ単位の安全活動を評価し、表彰する制度。

明確なルールを取り決め、6ヶ月ごとに評価を行う。



▶ 環境・安全カレンダー

インパックスロジスティクス株式会社
本社営業所

事業部門
優良賞

当該月に実施するイベントや、営業車の燃費状況などを記載した「環境・安全カレンダー」を毎月作成し、掲示。情報の周知に活用。



▶ 顧客への積極的なエコドライブ啓蒙

株式会社トヨタレンタリース熊本
営業部

一般部門
優良賞

自社の営業車だけでなく、レンタカーを使用する顧客へのエコドライブの啓蒙活動を実施。ハイブリッド車両貸出の促進実施や、ツールを用いてエコドライブのコツを店頭で紹介。リース顧客に対しても、CO2削減量をガソリン車比で提示し、ハイブリッド車導入の訴求を実施。

